

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和3年9月6日

施設名	高知青少年の家	所管課	教育委員会生涯学習課
-----	---------	-----	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(特非)高知県青年会館	指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町天王北1-14		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><令和2年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・仁淀川親子体験教室 ・親子陶芸教室 ・メモリアルアート教室 ・夏休み学習支援教室 ・高校連携事業 夏休みプログラミング教室 ・はじめての手話教室 ・木でスポーツモルック&カーリング ・ドローン体験教室 ・親子キャンドル教室 ・折り紙飛行機教室 ・小学生パソコン教室(放課後居場所作り事業) 		
施設内容	<p>研修及び会議を計画する各種機関・団体・学校・グループ・サークル・企業等に施設を提供している。</p> <p>利用開始日:昭和63年6月1日 延床面積:1,230.39㎡ 建築物:鉄筋コンクリート2階建</p> <p>施設概要: 大集会室200名×1 研修室45名×3 会議室20名×1 和室20名×1 和室15名×1 視聴覚室50名×1 談話室(ホール)</p>		
職員体制	職員:所長1名 事務長1名 指導員3名 合計:5名 ※所長・事務長は青少年体育館と兼務		

2 収支の状況

(単位:円)

		R01年度(決算)	R02年度(決算)	R03年度(予算)
収入	県支出金	21,017,000	21,358,000	21,323,000
	事業費収入	52,500	44,000	84,000
	収入計	21,069,500	21,402,000	21,407,000
支出	事業費	451,739	404,150	591,000
	管理運営費	8,297,493	7,623,407	7,713,000
	人件費	10,382,863	11,183,712	11,158,000
	消費税	1,937,405	2,190,731	1,945,000
	支出計	21,069,500	21,402,000	21,407,000
使用料収入		710,920	523,080	684,000

3 利用実績

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均
利用者数	18,105	21,203	22,040	20,604	10,800	18,550
利用団体数	1,032	1,097	1,093	1,020	834	1,015

4 業務の評価

項目	施設からの状況説明に対する評価・意見
①利用拡大のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな事業を計画するなど利用者拡大に向けた積極的な態度は評価できる。 ・工業高校と連携した事業に特徴があり、これは今後も継続してほしい。 ・小学生向けのプログラミングやドローン教室など社会状況やニーズを捉えた企画を取り入れていることは評価できる。 ・高知の子どもたちや若者たちに今必要な知識や能力は何なのかを考え、それを実現・達成できるプログラムを考案してほしい。 ・さまざまな親子行事を計画し、体験活動を通じた親子でのふれあいの場を設けている。 ・コロナ禍で中止になったが、地元の仁淀川親子体験教室は、地域とも連携をした企画となっている。 ・当初計画していた「オセロ」から感染対策を十分に行い(換気・マスク・軍手着用など)「カーリング」に変更して実施するなど、工夫をした取組がなされている。 ・コロナ対策を十分に織り込んだプログラムとして発展、継続しうる事業を評価する。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートをとって改善に生かしていることは評価できる。 ・施設の設備面での安全管理や、人が集まることで起きる事故を防ぐ視点での安全対策については引き続き注力してほしい。 ・年末年始と年1度の消毒日以外は開館し、利用者のニーズに応えている。 ・稼働実績358日は十分に評価できる。 ・行き届いた清掃等環境美化に努めたり、季節ごとに装飾を行ったりして、利用者を気持ちよく迎える努力をしている。 ・高齢者向け教室に和室や研修室を提供したり、手話教室を開催するなど、障害者理解や高齢者への配慮を行っている。 ・地元の自主防災組織の長と連絡をとっており、いの町の災害時指定避難所としてさらに町との連携強化、体制整備を図ってほしい。
③施設の運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の放課後の活動を支援し、地域の居場所づくりとしての貢献は評価できる。 ・安全管理については入念な対策と適宜訓練をお願いする。 ・年度当初に「運営方針」を全職員で確認し、職員の主体性とチームワークを大切にしたい運営を心がけている。 ・適宜、施設巡回を行い、破損箇所や汚れ等の目視点検及び整理整頓を行っている。

④利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の影響を受け厳しい状況の中でよく取り組んでいる。 ・設定した利用者目標値の20,000人に対して約半数の利用者数にはなっているが、コロナ禍の中ではやむを得ない。
⑤収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費が予算をオーバーしているため、安全かつ安定的に運営するために必要な人数が揃っているのか、点検と改善を求める。 ・報告書(消費税)の科目の表記について変更する必要がある。
総合評価	<p style="text-align: center;">A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催事業等に対して積極的に取り組むも、今年度はコロナ禍で十分に活動ができず、残念であったと推察される。今後は、どのようにコロナと共生した事業を実施するかを考えていくことが課題。健康パスポートとリンクした取組を強化し、健康増進の拠点として新たな事業を創造してほしい。 ・感染症の影響を受けながらよく取り組んでいる。 ・社会状況の変化や生活者のニーズを施設運営やプログラムの立案に反映することに注力してほしい。高知県は健康長寿を目指して各企画を取り組んでおり、体育館運営と合わせながら健康長寿や健康増進に向けたプログラムを企画したり関連情報を発信することも可能。また学校にICTを導入するGIGAスクール構想に関連するプログラムを考案することも同様。外部環境の情報を積極的に収集して運営に生かすことを期待する。 ・厳しいコロナ禍の中で、事業の見直しを図ったり、人数制限を行ったりして、できるだけ中止にならないよう努力している。 ・学校や地域と連携ができています。 ・利用者が気持ちよく施設を利用できるように職員が努力している。 ・「プログラミング教室」では高校生が講師役をしており、参加した小学生親子だけでなく、高校生にとっても貴重な体験となっている。今後も中高生が参画する事業を計画してほしい。 ・ホームページのようにほぼ一方通行的なメディアも必要ではあるが、フェイスブック、インスタグラム、ツイッターなど相方向のコミュニケーションツールの活用も検討してほしい。利用者、利用見込者とのコミュニケーションを図るために、相方向のコミュニケーションツールの活用が、今後、求められると思う。

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

※「施設からの状況説明に対する評価・意見」欄には、各施設の品質向上及び利用者拡大に向けて、①から⑤までの項目に沿って、努力成果が見える点や改善が必要だと感じる点、その他特記事項をご記入ください。

また、他の参考になるような業務改善の取組については、総合評価欄にご記入ください。